

城東区社会福祉

発行所
社会福祉法人
大阪府城東区社会福祉協議会
発行人
駒井信義
編集
広報福祉部会
大阪府城東区中央3丁目4番29号
城東区役所内
電話(932)1351
題字は駒井区協会会長

法人の基礎固まる

新役員決定

会員の申込始まる



再任された駒井会長

昨年十一月九日の理事会で、法人社協としての基礎固めを図るとともに、役員改選があり、新役員が選ばれました。

法人社協として、序々に体制を整えてまいりましたが、特に、今回の理事会では、会員募集を実施することが決められました。

会員募集は、法人社協の財源確保に不可欠であり、募集を開始すると同時に、正会員、賛助会員の申込み

が相次いでおります。なお、新役員は、次の方々です。

任期は、昭和五十三年十月一日から二年間。

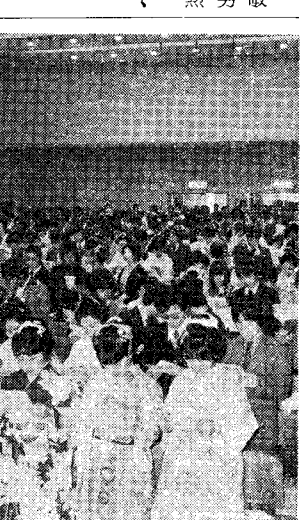
| | |
|------|--------|
| 理事長 | 駒井信義 |
| 副理事長 | 吉田定治 |
| 常務理事 | 勝田重春 |
| 会計理事 | 中津政子 |
| 理事 | 辻本榮三郎 |
| | 田中繁一 |
| | 和田二修 |
| | 津野大七 |
| | 下野大七 |
| | 内海大七 |
| | 行田典子 |
| | 松葉静子 |
| | 美濃部利一郎 |
| | 廣田利一郎 |
| | 大谷辰造 |

評議員
高津幾太郎
藤田利貞
松澤善吉
堀田直広
藤川好種
吉井勝三
木本信男
勝田好三郎

評議員
落合政義
川崎福松
高田孫治郎
木村修三
山下久人
高橋態太郎
岡崎重一
都築秀夫

評議員
福井フミエ
文谷タキヨ
道前利雄
矢部森
金部徹

評議員
岩佐利一
石岡正
谷本正
春本正
谷本正



「差別をなくそう」
同和問題研修会
盛大に開催さる

人権週間に先立って、十一月二十九日(水)城東区民ホールに於て、城東区社会福祉協議会主催のもとで開催されました。

当日、講師として、財団法人大阪府同和事業促進協議会、事務局長山田多美男先生を迎え、「同和問題と私たちのかわりあい」この演目で、約3時間にわたる研修会が開催されました。

参加者は、同和問題の認識をあらたにし、理解するうえで大いに役立ったことと思えます。

当然同和問題は、国や地方公共団体に課せられた責務であり、国民ひとりひとりが正しく理解しなければなりません。

差別のない明るい社会づくりは、誰もが望んでいることでもあります。

ところが、まだ一部には差別を悪用し、差別を助長する悪質な事実が数々見受けられ、これを目的として実施されてきました。

しかしながら、三十有余年の歳月が私たちの生活のすべての面に大きな変遷をもたらしたように、社会福祉事業の対象や、内容を大きく変化して、共同募金の配分先や、使途を今では、創立当初の施設中心から、在宅福祉サービスを重点とする方向に変わってきています。

皆様方の暖かい善意が、社会福祉の増進に大いに寄与していることは、まぎれもない事実であり、今後ますます資金増強が望まれているところであります。

駒井区社協会長

全国行政相談委員連合協議会会長に就任

行政相談委員制度は、昭和三十六年の行政苦情相談の配置が、出発点になっており、翌年、行政相談委員と改称されました。

更に、昭和四十一年には行政相談委員法が制定施行され、相談委員の法的根拠により位置づけされるようになりました。

以後、昭和四十三年には行政相談委員連合会(広相協)の結成、翌年には、全相協が結成されました。

行政相談委員とは、ひとくちに云って、行政機関と国民とを結ぶ一つの太いパイプであるといえます。

行政機関が行政事務を処理する過程で、ある程度の過誤を生じることが避けられず、そこに、苦情が発生します。

そこで、国民の間に広く行政相談の窓口を開設し、各種の相談を受け、すみやかに、問題解決のために活動していくのが、行政相談委員です。

祝賀会盛大に開催
駒井会長の祝賀会が、二月十三日(土)城東区民ホールに於て、約七〇名の人が出席され、就任をお祝いし、会長から、決意と謝辞が述べられた。

共同募金実績額

53年度

一月一日からはじまった共同募金は、皆様の暖かい善意により、十月四日には早くも城東区目標を突破しました。

なによりも、心をこめて浄財の拠出された寄付者の方々と、その善意を奨励せよと尽力された募金奉仕者の方々と、さらに各方面からご支援を寄せられ

た協力諸関係団体に対しお礼を申し上げます。

国民たすけあい共同募金運動は、戦後の荒廃した社会の中で存続の危機に立ち上っていた民間社会事業の基盤を培うことを目的として、昭和二十二年十一月二十五日から開始され生活困窮者や、戦災孤児が、町にあふれていた暗闇のような時代

「たすけあいの精神」を基調としたこの運動は、以来「赤い羽根」をシンボルとして今日ではすっかり私達の暮らしに欠かせないものとなっています。

共同募金運動は、社会連帯の精神を高めたすけあいの心の重要性を強調することにより、福祉社会への国民世論を醸成し、その基礎



人権啓発推進会
啓発を奨励

昨年、十二月四日(月)蒲生四丁目交差点付近で、人権啓発委員多数出席のもと、通行人の方々に対し、標語入りメモを配布し、啓発活動を行いました。

通行人に啓発活動を実施

- 善意銀行 だより
- 昨年七月五日号でご報告以降で一万円以上の預託者は次の方々です。
- 津田 久利様 一〇〇,〇〇〇円
 - 若宮八幡大宮 地車巡行神楽会様 一〇,〇〇〇円
 - 中津 政子様 二〇〇,〇〇〇円
 - 久保 静夫様 五〇,〇〇〇円
 - 明光美健サロン様 三八,一六一円
 - 喫茶レイク様 二八,〇六六円
 - 阪田 卯一様 五〇,〇〇〇円
 - 行田 一典様 五〇〇,〇〇〇円
 - 山岡 正男様 二〇〇,〇〇〇円
- その他、井芹敬子様から健康器具をいただきました。



1979 国際児童年

本年は国際児童年—こどものしあわせのために—

わが子への愛を世界のどの子ども

校下社協だより

覆 並

今回は、昭和五十二年度から、地域福祉活動のモデル地区として、大阪市社会福祉協議会から指定された覆並社会福祉協議会を、紹介します。

モデル地域とは、大都市地域における社会福祉問題を解決または向上させるため、住民主体の地域組織化活動を推進する校下社協を指定して、モデル的な活動を展開することを目的としております。

覆並校下は、人口一、二



活動の拠点となっている覆並会館

九五四名、世帯数三、九六〇世帯（五〇年十一月一日現在）で、城東区以外の校下と比べると中規模程度に位置しております。

これまでの主な活動としては、敬老の日の大会、青少年のための研修、防犯灯の設置、交通安全運動、防火活動等々直接地区の向上に役立つことをしてまいりました。

しかし、組織の確立や各種団体との連絡をより密にし、住みよい町づくりのための社会福祉協議会づくりをめざすために、モデル地区の指定を受けたのであります。

指定を受けると、早速大阪社会福祉協議会の説明会に出席しました。

これまで、覆並校下にははっきりとした校下社協がなく、各種団体との関係は、すべて地域振興会で処理し、事業等の経費も、地域振興会から受けておりました。

従って、校下社協組織を確立したうえで活動することとは、今までの事情から多くの問題を含んでいるので、慎重に対処しつつすすめる必要があった。

その為、昭和五十二年六月三〇日、木村会長、村上

各種団体を集めた会議を開き、意見を聞くこと。それらを集約し、組織の確立をはかるため、各種団体の事業計画、予算計画を聞き、それに基づいて、社会福祉協議会として、事業計画、予算計画、会員募集を検討し、事業の一層の充実、コミュニティ意識の醸成に向けて行きたい。

特に、従来地域振興会と

ボランティアスクール開催

「あいさつ運動」始める

昭和五十二年度覆並地区の組織固めをし、役員を決定し出発したが、五十三年は、ボランティア・スクールを開催し、地域のますますの発展を期した。

ボランティア・スクールのプログラムは次の通りで各回とも多くの参加があり皆熱心に聞き討議された。

昭和五十二年最終日の座談会の組織固めをし、役員を決定し出発したが、五十三年は、ボランティア・スクールを開催し、地域のますますの発展を期した。

「あいさつ運動」を展開することになった。

また、今年度中に区内の総合福祉施設、関目学園を見学する予定です。

の関係から組織の確立を第一目標に設置すること。以上、五点が決められました。

引き続き、七月七日、各種団体に集まってもらい会議がもたれた。

木村会長は、あいさつの中で「組織づくりをおし、住みよい町づくりのために努力したいので、協力をお願いしたい。」と述べられ、それから、各会長から意見を聞き、人づくり、明るく住みよい町づくりをめざすため、校下社会福祉協議会としての組織体制を確立する。

たてわりのみの活動か

| 月 日 | 内 容 (敬称略) |
|----------|--|
| 1 10月4日 | 講義 「社会福祉協議会は何にをるところか」 竜谷大学教授 中垣昌美 |
| 2 10月18日 | 講義 「ボランティアってどんなことなの？」 大阪市社会福祉協議会福祉課長 津田修 |
| 3 11月1日 | 講義 「地域のおとしよりのために」 城東老人ホーム園長 松田恵一 |
| 4 11月15日 | 座談会 「住みよい覆並をつくるために」 閉講式 |

昭和53年度 功労者に表彰状

市社会福祉大会で

昭和五十三年度大阪市社会福祉大会が、十二月七日東成区民ホールで開催された。

駒井会長のあいさつに、つづいて表彰状および感謝状の贈呈が行われた。

大島大阪市長、井上市議会議長の祝辞が述べられたあと、第二部として、郷土史家・高橋敬敏氏による記念講演「なにわ人情よもまばなし」があった。

以下、城東区関係者の表彰状・感謝状を受けられた方は次のとおりです。

功労表彰
△社会福祉協議会役員▽
吉田定治
永年勤続表彰
△社会福祉協議会役員▽
福山明教、渡辺真一、中谷喜美、高津幾太郎、高橋政人、南浦宗夫、砂田フミ、富田萬三、堀口恒次、丹羽東、渡辺ウタ子、魚川清次、土庫憲英、庄田道

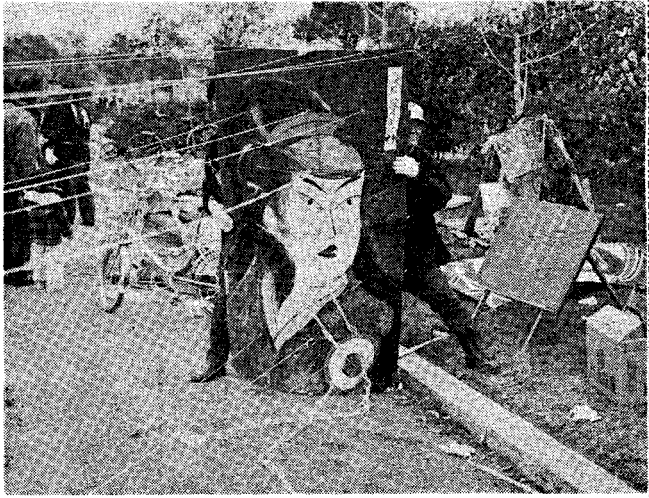
「硬貨募金」

三百万円超える

今年度で四回目を数え、硬貨募金は、うるおいのある町づくりをめざし、社会福祉の増進に役立てるため、又、老人敬愛運動や青少年福祉の充実をめざして、地域振興会（赤十字奉仕団）をはじめ、各種団体と協力して実施されたものです。

例年、この運動によせられた区民ひとりひとりの善意が、お年寄りの福祉等々、区内の福祉増進に大きく寄与しております。

今年度の募金実績額は、



協議会として年間総合計画を作り、広く地域全体の力を結集した活動を行ない、今までの事業をさらに肉付けしていくような方向にさせる。

各種団体の長は、全員理事に就任することが決議された。

心配ごと相談所

ご利用を

ひろく、住民の日常生活上の悩みや、問題を解決するために開いております。どんなことでも心配なことがありましたら遠慮なく相談に来て下さい。

なお、相談は無料で、秘密を守ります。

場 所 午後一時～四時
城東区役所一階
心配ごと相談室
法律相談日
毎月第四金曜日
午後一時～四時
相 談 室

| 相談事項 | 件数 |
|--------------|----|
| 1 生計問題 | 7 |
| 2 家族関係 | 11 |
| 3 職業、生業問題 | 2 |
| 4 健康、医療問題 | 3 |
| 5 結婚相談 | 3 |
| 6 離婚相談 | 1 |
| 7 住宅問題 | 3 |
| 8 精神衛生 | 1 |
| 9 心身障害者(児)福祉 | 0 |
| 10 児童福祉、母子保健 | 2 |
| 11 教育、青少年問題 | 1 |
| 12 母子福祉 | 0 |
| 13 老人福祉 | 0 |
| 14 人権相談 | 0 |
| 15 事故関係相談 | 2 |
| 16 苦情相談 | 1 |
| 17 法律 | 7 |
| 18 その他 | 9 |
| 計 | 53 |

53年度心配ごと相談事項別件数一覧 12/31まで

老人敬愛運動

私達ひとりひとりが今後の老後生活について考え、地域ぐるみで、コミュニティの輪を広げながら、明るく豊かな老後を築くことを目的として、昨年九月十五日の「敬老の日」を中心として、各校下で多彩な行事がくりひろげられ、おとしよりから大変喜ばれました。

区社会福祉協議会でも各

寒風つき

たこあげ大会

区民たこあげ大会が、一月二十一日(日)午前十時～十二時、鶴見区鶴見緑地広場で開催されました。

この大会は、毎年城東区コミュニティ協会と城東区たこあげ大会実行委員会共催で開催され、目的は、遊び場の少ない都市生活の中で、たこあげを通じて、手作り、創作の喜びを味わい、又、冬の一日を戸外に誘い出すことにより、寒さに負けない健康な体づくりと、共に区民相互の心のふ

城東区老人福祉センターだより

ところ 大阪市立城東区老人福祉センター(城東区中央三丁目五十一、電話九三二〇〇一七)

◎ 医師による健康相談・保健・栄養指導(毎週火曜・金曜(午後二時～四時))

◎ 保健婦の健康相談(医師の指導のもとに行います。(毎週日曜・火曜・木曜・金曜午前十時～四時))

なお、ねたきり老人の介護方法などについてのご相談もいたします。

精々、ご利用下さい。

防火の輪ひろげてよい町よい職場